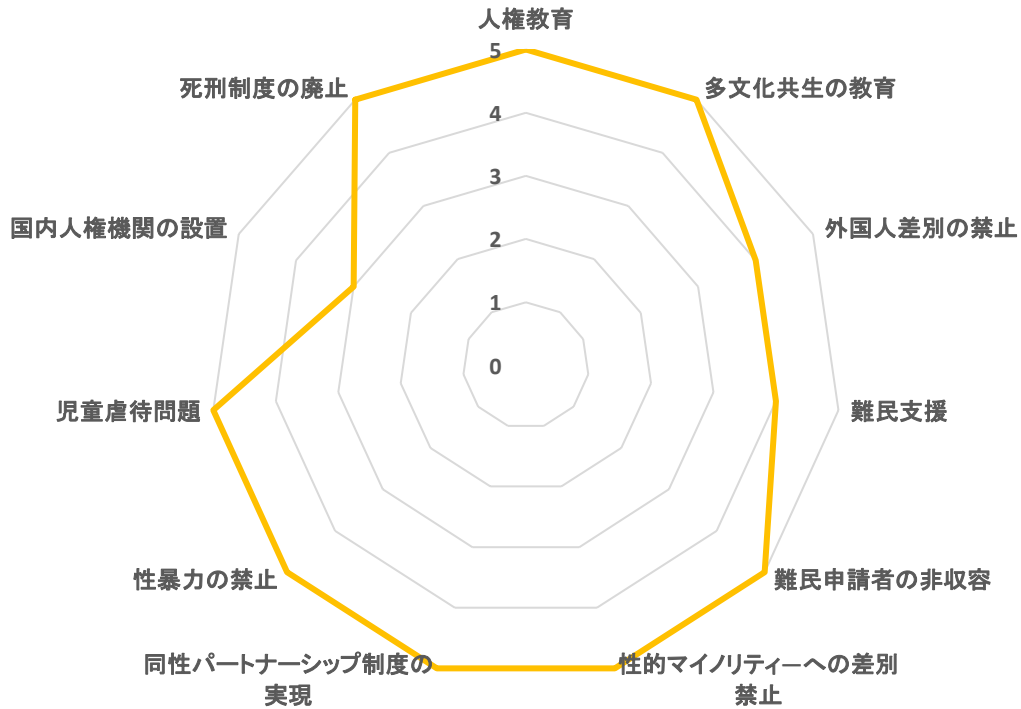


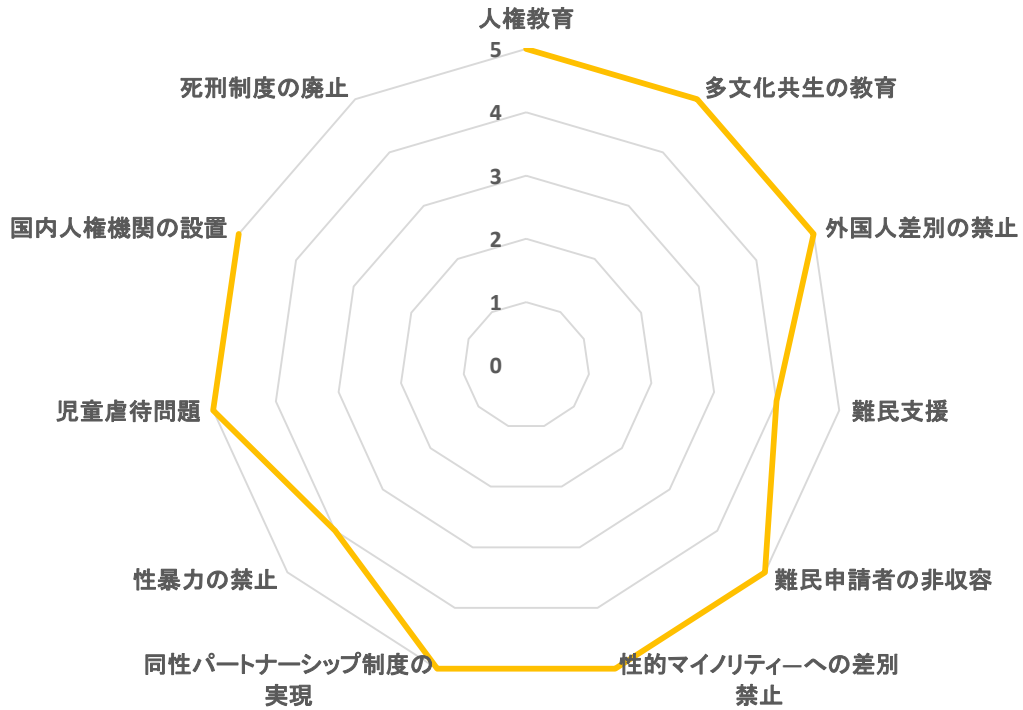
# 塩村 文夏(立憲)



## 特に取り組みたい人権課題

社会における女性の立場がいまだに弱い状況を改めなければなりません。さらには、多様な性が尊重される社会へと作り変えていきたいと思ひます。

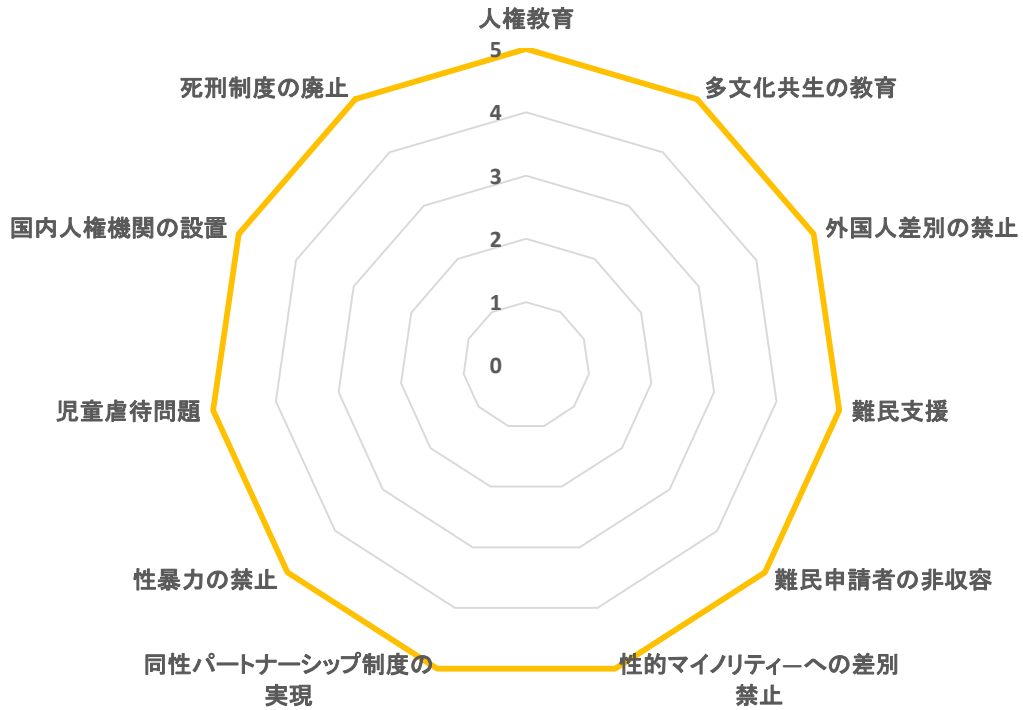
# 山岸 一生(立憲)



## 特に取り組みたい人権課題

○国際的にも求められている、政府からの独立性を有し、公正中立さが制度的に担保された実効性のある人権救済機関の設置。

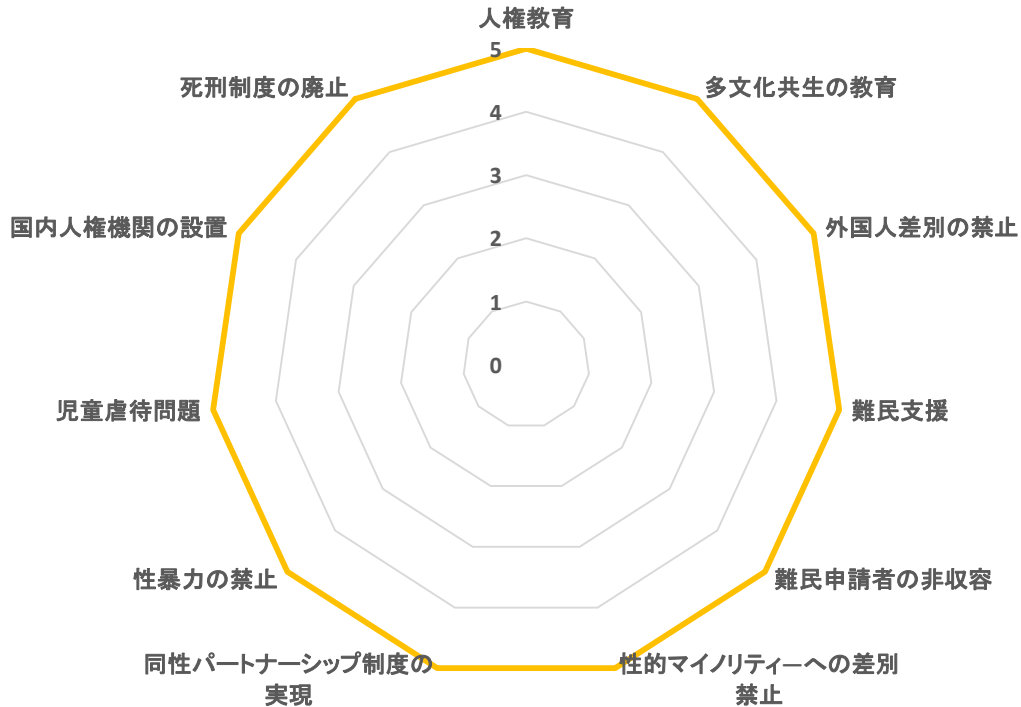
# 水野 素子(国民)



## 特に取り組みたい人権課題

選挙公約に「性的な役割分担を含むあらゆる差別的取り扱い・習慣の解消」を掲げる予定。

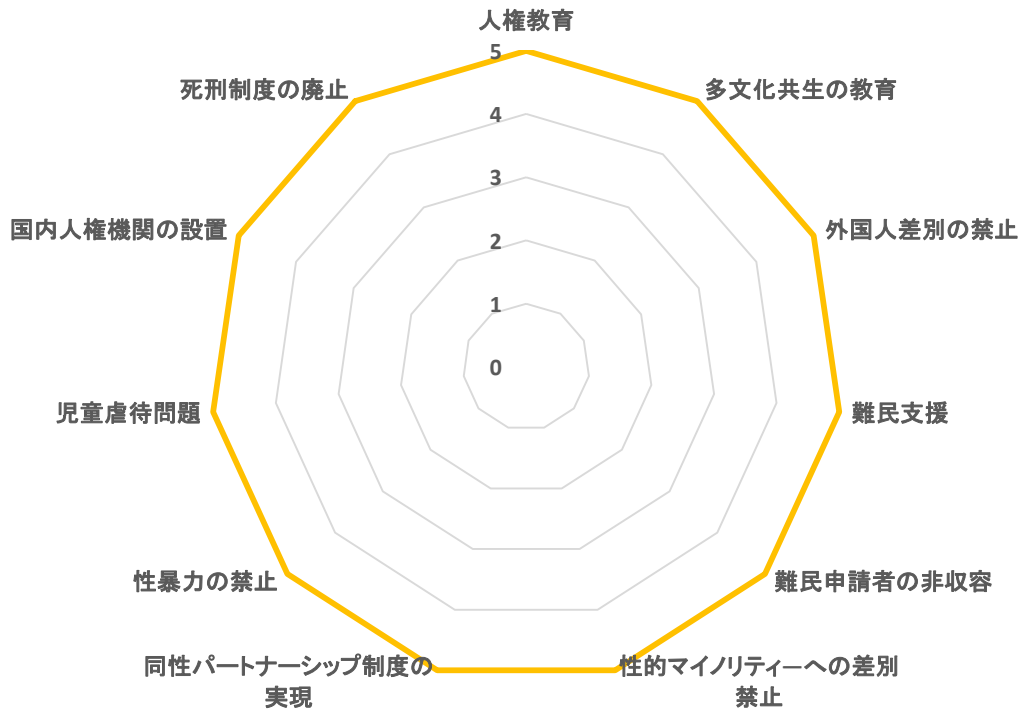
# 吉良 佳子(共産)



## 特に取り組みたい人権課題

- ・あらゆる現場でのハラスメントをなくすことは、まず真っ先に取り組みたいです。この間、国会で、女子高生の下着の色までチェックする理不尽なブラック校則問題や就活セクハラ問題などを国会で追及してきました。ILO条約を批准できる水準の、セクハラ、パワハラ、マタハラなどあらゆるハラスメント禁止する法律をぜひつくりたいです。
- ・そのほか、選択的夫婦別姓や、同性婚を認める民法改正、性暴力やDVを許さない、被害者を泣き寝入りさせない社会をのため、強制的性交等罪の「暴行・脅迫要件」の撤廃と同意要件の新設など刑法改正等も進めたい。
- ・また、憲法が保障する生存権も守るため、社会保障を充実させて、最低賃金も引き上げます。子どもの貧困をなくし、学ぶ権利・発達の権利の保障をめざし、教育の公的予算の増額を目指します。
- ・人間を使い捨てにするブラックな働き方をなくし、ディーセントワークを実現します。

# 朝倉 玲子(社民)

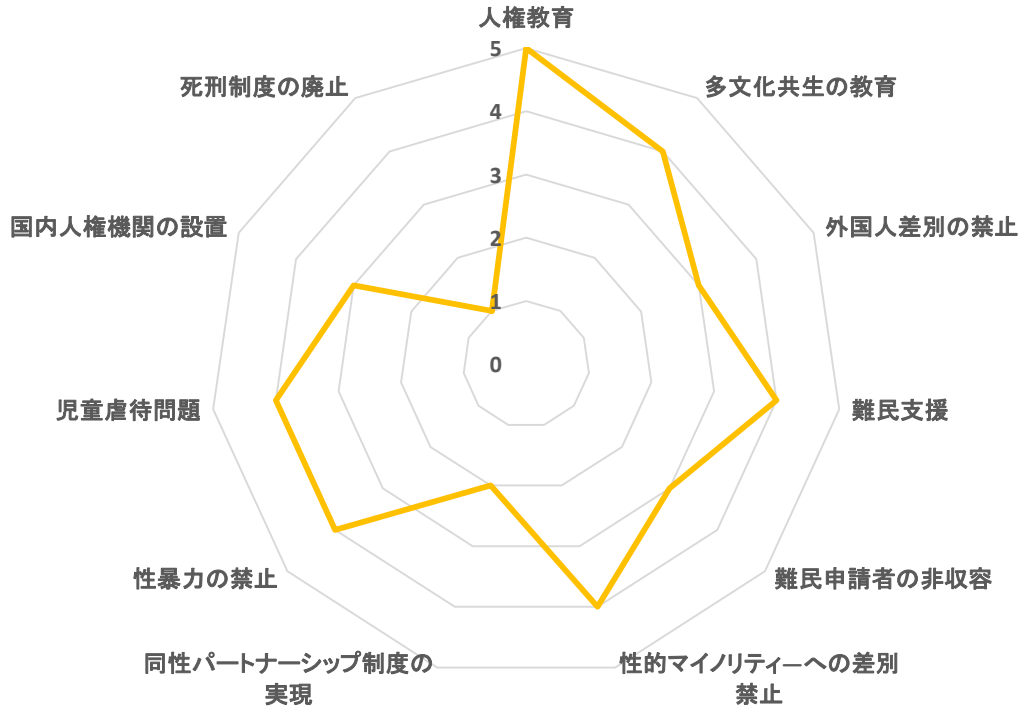


## 特に取り組みたい人権課題

個人の尊厳を尊重し、年齢、性別、国籍、人種、信条、障がいの有無等にかかわらず、多様性を認め合い、人権を尊重する共生社会をつくるために以下の課題に取り組みます。

1. 全ての外国人労働者の権利保護と生活支援を実施するとともに、「外国人技能実習制度」を抜本的に見直し、実習生の人権尊重を最優先に技能・知識を真に学ぶことのできる本来の国際貢献制度に改めます。新たな外国人在留資格について家族の帯同を認めないなど非人道的な仕組みの導入に反対し、外国人労働者を地域社会を構成する一員として正面から迎え入れる制度とします。
2. 差別や敵意を煽る「ヘイトスピーチ」の根絶に向けて全力で取り組みます。政府から独立した実効性のある人権救済機関を設ける「人権侵害救済法」を制定します。「部落差別解消推進法」の制定を踏まえ、総合的な人権の法制度確立に向けた活動を進めます。
3. LGBTsは「子どもを作らず生産性がない」などの差別的な言動を断じて許さず、性的マイノリティーへの偏見解消に取り組むために「LGBTs差別禁止法」を制定します。同性婚を実現するために、婚姻平等の法整備を進めます。

# 七海 ひろこ(幸福)



## 特に取り組みたい人権課題

真の「人権意識」の啓蒙です。

人間は、神の子・仏の子としての本質が尊厳の根拠であり、それが基本的人権のもとであると考えています。男女・身体障害に関わらず、社会は平等にその本来の力を発揮できる環境を整える努力をすべきです。人権弾圧を行う国家・組織に対する正義感・勇気ある行動も養う必要があります。